



全難聴便り

発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5
MSビル市ヶ谷台1F

編集：全難聴事務局
電話：03 (3225) 5600
FAX：03 (3354) 0046
URL：<https://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

↑ 「視聴覚障害者等向け放送の充実に関する研究会」の開催

11月1日(火)、標記の研究会がオンラインで開催され、新谷理事長が参加しました。障害者団体からはろうあ連盟、日視連、障害者放送協議会(リハ協)からの参加がありました。初回ということで座長に音 上智大学 文学部 新聞学科 教授、座長代理に山下大東文化大学 経済学部 現代経済学科 教授が選出されました。議案の最初に総務省から放送行政の全般の説明があり、そのあと今後の研究会の予定が以下のように決まりました。

【第1回】令和4(2022)年11月1日

- (1) 視聴覚障害者等向け放送の状況等
- (2) 利用者の立場からの要望
- (3) 視聴覚障害者等向け放送を取り巻く情報通信技術動向

【第2回】令和4(2022)年12月目処

- (1) 利用者の立場からの要望に対する考え方の整理
- (2) 放送事業者の対応
- (3) 海外の動向(米国、英国及び韓国)

【第3回】令和5(2023)年1月目処

- (1) 論点整理
- (2) 報告書への記載方針案の提示

【第4回】令和5(2023)年2月目処

- (1) 報告書案の議論

続いて、4回の研究会の後、令和5(2023)年2月を目処に本研究会の報告書の公表と指針の改定案のパブリックコメントを実施。同年3月を目処に新たな指針を公表することが承認されました。

そのあと、全難聴、ろうあ連盟、日視連、障害者放送協議会からの団体意見に続いて、NHK及びヤマハの発表がありました。

↑ 情報コミュニケーション関係4団体連絡会の開催

11月17日(木) 標記の連絡会が開催され、新谷理事長と佐野事務局長が参加しました。

1. 各団体からの情報提供

(日視連)

- ・権利条約総括所見、情報アクセス・コミ施策推進法の流れを受けて韓国の例を見習った点字に関する法律を日本でも作ることを議論している。

⇒手話言語法制定との連動を考えたい。(ろうあ連盟)

- ・国交省のバリアフリー施策研究会で、視覚障害者の移動に関するガイドライン作成を議論している⇒国交省の移動等円滑化評価会議とは別の会議での議論のことか確認したところ、日視連より別の会議体との返事

(ろうあ連盟)

- ・「手話を広める知事会」開催など 9 月以降の運動報告。

(盲ろう者協会)

- ・福島智理事の**お母様**を主人公にする映画「桜色の風が咲く」が公開中。
- ・3 年間、全国集会が中止になっている。来年開催を計画しているが、実現できるかどうかわからない。

(全難聴)

- ・9 月の大分の大会の様子を報告
- ・総務省の「視聴覚障害者等向け放送の充実に関する研究会」の参加報告
- ・総務省の「放送同時配信等への安全かつ円滑なアクセスの推進に関するワーキンググループ」への対応を 4 団体でも議論してほしい。

2. 障害者政策委員会について

- ・ろうあ連盟からの政策委員会への意見書（添付）を議論し、方向としては 4 団体連盟で要望することとなった。

⇒全難聴より、要約筆記について改善の意見を席上出しました。最終的には、全難聴専門委員（宮本副理事長）の意見も聞いてコメントするとしています。

3. その他

- ・令和 5 年度厚生労働省予算について（説明会の申し入れ）厚労省予算説明を 12 月には実施で計画する。日時候補を厚労省に提案する予定。

📌 JDF 代表者会議の開催

11 月 28 日、JDF 代表者会議がオンラインで開催され、13 構成団体代表全員が参加、全難聴よりは新谷理事長が参加しました。定款に沿って、議長は日身連阿部会長が務め、以下の議案が審議されました。概要は以下の通りです。

1. 役員の変更

代表は阿部会長が留任。副代表は現在 3 名のところ、ジェンダーバランスを考え 1 名増員し、日視連竹下会長、ろうあ連盟石野理事長、JD 藤井代表に加えて、育成会の久保会長が選任されました。また、幹事会議長は幹事会の互選の DPI の佐藤事務局長が代表者会議で承認されました。監事については野村、中村監事が留任となりました。

2. 障害者権利条約 審査の終了と総括所見を受けて

事務局より 8 月の対日審査の概要報告があり、そのあと個別課題の議論となりました。

- ・参加経費について、情報保障費が議論となり、ろうあ連盟の手話通訳者派遣費 260 万、盲ろう者協会の通訳介助者派遣費 230 万それぞれについて、150 万円は派遣元団体の負担で清算する方向です。ただ、情報保障費などは会議参加にあたって欠かせない費用となるので、今後の処理にあたっては事務局で細則を作成し、それを代表者会議で承認して運用に入るほう方向が示されました。
- ・総括所見を受けた今後の条約実施に係る取り組みと体制について事務局より提案があ

り、今回の総括所見に関して12月6日のJDFフォーラムでJDFとしての声明を出すことが決まりました。声明は原案が数日中に提示され各団体がコメントを出す流れです。また、今後の活動については2023-2025年度の中期計画を事務局がまとめ代表者会議に提案し、それを助成財団に出すことが承認されました。また、今までのパラレポ特別委員会に代わって、JDFの政策委員会が今後の障害者権利条約推進の取り組みにあたることになりました。

3. JDFフォーラム（12月6日）について、すでに周知済みの内容で12月6日に開催することが承認されました。

↑ 第27回 全国中途失聴者・難聴者福祉大会 in 美の国あきた

◎ 第27回 全国中途失聴者・難聴者福祉大会
in 美の国あきた

稲穂揺らす大地から未来を越えて咲き誇ろう！
～笑顔はじける聴こえの共生社会を目指して～

美の国あきたさけっ！

日程：令和5年11月25日（土）～27日（月）
会場：秋田市にぎわい交流館 AU（あう）など
（秋田駅から徒歩10分圏内）

へば 待てるっす！ Byクマ

「けっっ」とは秋田弁で「こっちにきてー」って意味だすワン！

おおいた～あきたへ 来年は美の国あきたでお会いしましょう!!

📌 全難聴 要約筆記事業研修会 受講申込受付中

令和4年度全難聴要約筆記事業研修会の参加募集を行っています。申込締切は12月15日(木)です。参加費納入期限は12月26日(月)です。詳しい案内・申込は全難聴ホームページにアクセスください。

📌 令和4年度厚生労働大臣表彰

当会常務理事 瀬谷和彦氏が令和4年度第72回障害者自立更生等労働大臣表彰で「更生援護功労者」として表彰されることになりました。表彰式は12月5日東京にて表彰式典が行われます。誠におめでとうございます。

📌 令和4年度「障害者週間」関係表彰式で全要研前理事長三宅氏が受賞

標記表彰式において障害者関係功労者として内閣総理大臣より全要研前理事長三宅初穂氏が表彰されます。式は12月5日東京にて授与されることになりました。誠におめでとうございます。

📌 理事の動き (11/1~11/30)

- 11月 1日 「視聴覚障害者等向け放送の充実に関する研究会」第1回研究会
(オンライン) (新谷)
- 11月 2日 JDF 企画会 (オンライン) (佐野)
- 11月 7日 障害者権利条約推進議連総会 議員会館 (小川)
- 11月10日 駅の無人化(省人化)に伴う利用実態調査ヒアリング (オンライン)
(小川)
- 11月13日 新光会 第70回記念大会 岐阜市 (加藤)
- 11月14日 第73回障害者政策委員会 (オンライン) (宮本)
- 11月17日 情報コミュニケーション4団体連絡会 (オンライン) (新谷、佐野)
- 11月21日 バリアフリー委員会(拡大) (オンライン) (小川)
- 11月26日 補聴器販売者の技能向上研修等企画推進委員会 (オンライン) (宿谷)
- 11月28日 JDF 代表者会議 (オンライン) (新谷)
- 11月28~30日 シーズ・ニーズマッチング交流会 IN 大阪 (小川)

📌 12月の予定 (12/1~12/31)

- 12月 1日 第74回障害者政策委員会 (オンライン)
- 12月 5日 第72回障害者自立支援等厚生労働大臣表彰式 東京
- 12月 6日 JDF 全国フォーラム (オンライン)
- 12月12日 常務理事会 (オンライン)
- 12月14~16日 シーズ・ニーズマッチング交流会 in 東京
調整中
 - ・全難聴&全要研定期協議会
 - ・聴覚障害者制度改革推進中央本部